



当てよう!
道産品!
裏表紙をチェック! >>>>

2017年
8月号
平成29年7月発行
通巻221号

【特集】備えよう! 万一のためにできること

「まさか」を繰り返さないために、
一人一人ができることを。
日頃の心構えと備えが大切です。

いざというときに命と暮らしを守るために、
家庭や地域で、防災についてできることを進めましょう。



大切な命を守るため、
できることから
取り組んでいきましょう。

北海道知事 渡辺 博三

防災教育に役立つ「北海Do防災かるた」
企画・製作 (一財)日本気象協会 北海道支社
商標登録出願中

「まさか」と感じた大雨災害から一年

昨年大雨災害から、約1年が経過しようとしています。
北海道では昨年8月から9月にかけて、台風や低気圧、前線の影響により、各地で繰り返し大雨に見舞われました。特に、8月30、31日には台風10号の影響で、上川・十勝地方を中心に記録的な大雨となり、河川の氾濫や土砂災害により、道路の崩落、橋梁の落下など、甚大な被害を受けました。



清水町石山橋付近(平成28年8月)

「まさかあの川が氾濫するとは」「まさか避難することになるとは」などの声が被災地域で多く聞かれたように、北海道では台風はめったに上陸せず、長い間、大きな水害を経験してこなかったことから、水害に対する警戒心は弱く、避難行動などへの心構えや備えも十分とはいえません。

しかし、近年の気候変動により、北海道でも局地的に激しい雨の降る頻度が増えてきており、昨年のように1週間で3つの台風が上陸するなどの事態も、二度と起きないとはいえません。「まさか」と感じるような大雨が、再び北海道を襲う恐れがあるのです。



十勝発・災害復旧レポート

平成25年に入庁し、土木技術者として5年目。初任地の後志総合振興局では道路事業に携わっていましたが、ことし1月、大雨災害で被害の大きかった十勝に異動し、河川施設災害の復旧作業に従事しています。

当課が所管しているのは、帯広市など1市6町1村で、河川においては約140カ所の災害復旧工事を実施します。決壊し

災害を教訓として「まさか」に備える

北海道防災会議は、昨年10月に学識経験者や防災関係機関などで構成する「災害検証委員会」を設置し、大雨災害をさまざまな視点から検証しました。そして、この災害の教訓を今後の防災・減災に生かすため、防災訓練・研修を通じて防災担当職員のレベルアップや関係機関の連携強化を図るとともに、「北海道災害ボランティアセンター」を常設するなどの取り組みを進めています。

また、道民の皆さん一人一人が、災害に対する意識を高め、日頃から家庭や地域で防災について話し合い、備えることが大切です。

災害はいつやってくるかわかりません。しっかり備えることで、気持ちに余裕が生まれ、自らの命を守り、大切な人を助けることにもつながります。いざというときに「まさか」と思うことがないように、できることから取り組んでいきましょう。

- 洪水や土砂災害など、住んでいる地域の危険ポイントを確認しておきましょう。
- 「避難勧告」などの避難情報や気象情報の意味を正しく理解し、危険が予想されている場合は、安全な場所へ早めに避難しましょう。
- 避難所での暮らしを想像し、必要なものを用意しておきましょう。

た堤防を最優先に復旧工事を進めています。浸食された農地も多く、河川の特徴や被害状況を見極めつつ、護岸工事を計画的に進めています。

工事の人手や資材の不足など課題は多くありますが、一日でも早く復旧するよう、地域のために力を尽くします。



復旧工事に立ち会う様子

クイズ! 北海道の日

「道民育児の日」は、
毎月何日?



答えは中面下に▶

ミズナラの森から生まれた樽で
厚岸ウイスキーの熟成を目指す

堅展実業(株)厚岸蒸溜所/厚岸町

北海道を代表する広葉樹のミズナラは、ウイスキー熟成樽の樽材としても評価が高く、この樽で長期熟成されたウイスキーは、白檀のような独特の香りが生まれるといわれています。面積の半分以上が森林に覆われた厚岸町には、樽造りに適したミズナラが自生しています。



樽材となる厚岸産のミズナラ

東京の堅展実業は、スモーキーな風味に欠かせないピート(泥炭)が豊富なことなどウイスキーの本場スコットランドに似た風土を持つ厚岸町に着目し、昨年11月、ウイスキー蒸溜所を開業しました。さらに、付加価値の高いウイスキー造りを目指して、地元産ミズナラを使って、熟成樽造りも進めています。

町内の道有林には樹齢200年を超えるミズナラがあり、これを入手して熟成樽造りを始めています。

現在は大麦も熟成樽も海外からの輸入が中心ですが、地元産大麦の栽培が軌道に乗れば、オール厚岸産のウイスキーを造ることが可能になります。

牡蠣やチーズ、エゾシカなど、地元の食とよく合うウイスキーを造り、厚岸を訪れた方々に楽しんでいただきたいですね。

※現在、一般の方を対象とした見学は実施していません。

▶お問い合わせはフェイスブックから [厚岸蒸溜所 Facebook](#) 検索

ほっかいどう
未来への 元気遺産!

北海道を元気にする、人・もの・アイデアを紹介します。

森 編

50年先を見てアカエゾマツを
育てる「ピアノの森」

北見木材(株)/遠軽町

寒冷な気候で育つアカエゾマツは、年輪の幅が狭く緻密なため反りやねじれが少なく、楽器づくりに適した木材です。中でも遠軽町丸瀬布産の天然木は、かつて国産グランドピアノの響板の素材として高い評価を得ていました。しかし、住宅用建材などとして伐採されたため、天然木は減少し、現在は輸入材に頼らざるを得ない状況です。

1950(昭和25)年からピアノの部材加工を手掛けている北見木材(株)は、昨年、オホーツク総合振興局および遠軽町と協定を結び、道有林や町有林に「ピアノの森」を設け、50年先を見据えた付加価値の高い楽器用のアカエゾマツを保全する取り組みを始めました。



ピアノの響板部分

数年前、町内の植林木で響板を試作したところ、家庭用中級モデルの音質と評価されました。今後「ピアノの森」のアカエゾマツが順調に育てば、遠軽町から最高級ピアノが生まれる可能性もあります。

響板はピアノの品質を決める重要な部分。熟練した職人が板の木目や色合いを見ながら、一枚ずつ仕上げるため、完成まで2年かかることもあります。いつの日か、この森から生まれたピアノの音をみなさんにぜひ聴いてほしいですね。

▶お問い合わせ 北見木材(株) ☎(0158)47-2336

最高評価を得られる
メイドイン北海道をつくりたい。



北見木材(株) 代表取締役社長 佐藤 正則

北海道 150年 なるほど! 知るほど! 物語

北海道ならではの食の由来や知られざる歴史を紹介します。

五稜星マークのビールは開拓使が造った本場の味

北海道で初めてビールが造られたのは、北海道開拓使が設置された明治初期にさかのぼります。当時、まだ産業が芽生えていない北海道の経済を潤そうと、開拓使はさまざまな官営工場を設立しました。

そのひとつ「開拓使麦酒醸造所」は、1876(明治9)年に開業し、日本人で初めて本場ドイツで修業した中川清兵衛が醸造を担当。翌年夏には、道産ビール第1号が五稜星(北極星)の描かれた開拓使旗を立てた船で、東京へと運ばれています。

その後、開拓使麦酒醸造所は民間に払い下げられ、開拓使の誇り高い五稜星マークも引き継がれました。五稜星はこのほかに、道庁本庁舎として使われた赤れんが庁舎や札幌時計台などにも掲げられており、当時の開拓使の情熱をしのぶことができます。なお、この歴史は、サッポロビール博物館でも紹介しています。

●サッポロビール博物館 札幌市東区北7条東9丁目 施設についてのお問い合わせ ☎(011)748-1876



写真上:1877(明治10)年の冷製「札幌ビール」
写真下:開業当時の開拓使麦酒醸造所

当てよう! 道産品

抽選で30名様

「北のハイグレード食品S 2017」に選定された、藤崎果樹園「プレミアム葡萄ジュース」キャンベルスアーリー(500ml、1本)をプレゼント!



次のアンケートに答えて道産品を当てよう!

8月号の中で最も興味を持ったのは、どの記事ですか

- ① 特集(備えよう! 万一のためにできること)
- ② お知らせ! 赤れんが ③ 注目! 地域から
- ④ 未来への元気遺産!
- ⑤ なるほど! 知るほど! 物語

●当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

●応募方法:アンケートの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本紙への意見・感想を記入の上、ハガキ、パソコンまたは携帯サイトでご応募ください。

●応募期限:8月28日(月)必着 応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。

●応募先 ハガキ 〒060-8588(住所不要)

北海道広報広聴課「当てよう! 道産品」係

パソコン 広報紙ほっかいどう

検索

携帯サイト



●掲載記事の関連ページ、広報紙アンケート結果、広報紙のバックナンバーなどの閲覧も上記からアクセスできます。※6月号のプレゼントには、4,647件の応募をいただきました。

北海道の人口	総人口	男	女
平成29年3月末	5,348,102人	2,524,810人	2,823,292人
前年同月比	29,680減	14,567減	15,113減

※人口は年4回公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。

次号のお知らせ

10月号は9月20日(水)に配布開始の予定です。

8月19日(土)午前10時20分からHTB北海道テレビで広報番組「情報カフェ 赤れんが」を放送。防災をテーマにお届けします。

広告

※この広告は、広告主の責任において北海道が掲載しているものです。